

まなびピア
2011

全国生涯学習 ネットワークフォーラム

2011

学びを力とする
3・11以降の
地域づくり・
社会づくり



東日本大震災の被災地では、行政や地域の人々とボランティア活動に参加している方々が連携し復旧・復興に取り組んでいます。このような中、改めて人と人の「絆」やコミュニティの重要性が再認識されています。

このフォーラムでは、震災の経験から見えてきた成果や課題を踏まえ、生涯学習を通じた新しい地域づくり、社会づくりについて研究協議を行います。また、継続的な取組のための関係者間のネットワークづくりを推進します。

とき

平成23年

11月5日(土)、6日(日)

場所

文部科学省講堂ほか

プログラムは裏面をご覧ください。

主催：全国生涯学習ネットワークフォーラム2011実行委員会（文部科学省ほか関係団体等にて構成）



文部科学省

詳細や参加申込はホームページから <http://www.mext.go.jp>

全国生涯学習ネットワークフォーラム

検索

全国生涯学習

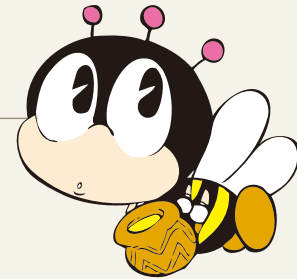
平成23年

11月5日(土)、6日(日)

ネットワークフォーラム 2011

【全体会】11月5日(土) 10:00~12:00

開会行事 (雄勝復興輪太鼓)、オープニングセッション



【分科会】(5テーマ) 11月5日(土)午後及び11月6日(日)

①: 学びの場を核にした地域の絆づくり

震災の極限的な状況の中から地域の人々が、どう協力しながら震災の復旧・復興に取り組んできたのか。その地域の人々の絆を支えたのは一体何だったのか。また、避難所等に活用されていた学校や社会教育施設とその関係者は、どのような役割を担ってきたのかなどについて議論を深めます。更に、全国的な課題でもある人と人のつながりの回復や地域課題の解決等に向けて、学校や社会教育施設に何が期待され今後どのような取組を推進していくべきのかなどについて研究協議し、地域の絆やコミュニティの再生につなげることを目指します。

②: これから求められる防災教育への取組

防災教育は、人々が自らの命を守ることが基本であり、自ら学び様々な状況に応じて適切に対応できる能力と行動力を主体的に身につけることが重要です。また、その後の生活、復旧・復興を支えるための支援者となる視点を育む必要もあります。様々な立場で、防災教育に取り組む又は関心を持つ人々が集まり、先進的な取組や今回の震災における実例等を参考に、これからの防災教育の在り方や方策等について熟議しその成果を発信することにより、地域ぐるみの防災教育の取組の拡大を目指します。

③: 希望の高齢社会—新たな可能性への挑戦—

超高齢社会の到来を目前に控え、高齢者を単に支えられる存在から、自らの地域における社会的役割を認識し「社会参画」や「自立」を通じて地域社会を支える担い手へと、ポジティブな視点で捉えなおし、その中での生涯学習の在り方について研究協議しその成果を発信するとともに、関係機関及び関係団体間のネットワークの構築を図ります。

④: ICTを活用した学びと安全・安心な学校の創造

文部科学省が、本年4月28日に取りまとめた「教育の情報化ビジョン」の趣旨等を踏まえ、災害時におけるICTの活用方策やこれからの教育におけるICTの果たす役割・展望について、教育委員会職員、教員、企業等が集まり、研究協議や情報交流を行う場を設けることにより、ICTを活用した21世紀にふさわしい学びと安全・安心な学校の創造を目指します。

⑤: 震災ボランティアと若者たち~その学びと支援を考える~

東日本大震災から240日、多くの若者たちが震災ボランティア活動に参加し、被災地の復興と被災者への支援を継続して行ってきました。若者たちはどのような役割を果たし何を学んできたのか、そして関係する機関、団体は若者たちにどのような支援をしてきたのか。震災ボランティアを通じた若者たちの成長と学び、さらにその支援のあり方に関し、多様な団体の取組から見てきた新しい可能性について考えていくとともに、これからの時代を担う若者達の絆やネットワークづくりを推進します。